

全鉄連流通動態調査結果表 2020年5月分

(2020. 6. 26)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		4月実績	前月比	5月実績	前月比	5月実績	前月比	5月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	5,698	94.9%	38,545	96.1%	38,547	95.4%	5,696	100.0%	
	大阪	2,087	88.9%	15,704	98.8%	15,788	97.7%	2,003	96.0%	
	愛知	3,092	107.3%	4,743	83.9%	4,892	89.8%	2,943	95.2%	
	計	10,877	96.8%	58,992	95.7%	59,227	95.5%	10,642	97.8%	
形 鋼	山 形 鋼	東京	17,949	97.9%	6,358	81.5%	6,831	83.4%	17,476	97.4%
		大阪	20,689	100.6%	7,086	79.2%	7,881	89.4%	19,894	96.2%
		愛知	8,138	90.7%	3,578	89.6%	3,932	81.4%	7,784	95.7%
		計	46,776	97.7%	17,022	82.1%	18,644	85.4%	45,154	96.5%
	溝 形 鋼	東京	17,077	96.2%	4,916	88.0%	4,516	72.1%	17,477	102.3%
		大阪	10,437	98.9%	4,063	74.0%	4,769	85.1%	9,731	93.2%
		愛知	5,389	93.3%	2,873	88.2%	2,513	69.0%	5,749	106.7%
		計	32,903	96.5%	11,852	82.7%	11,798	76.1%	32,957	100.2%
	H 形 鋼	東京	30,748	95.0%	13,536	91.4%	13,723	83.4%	30,561	99.4%
		大阪	44,861	93.4%	20,688	89.5%	21,702	82.6%	43,847	97.7%
		愛知	17,054	84.4%	9,449	113.1%	9,198	80.0%	17,305	101.5%
		計	92,663	92.1%	43,673	94.4%	44,623	82.3%	91,713	99.0%
合 計		172,342	94.4%	72,547	89.2%	75,065	82.0%	169,824	98.5%	
コ ラ ム	東京	9,048	100.6%	2,671	92.7%	2,821	99.7%	8,898	98.3%	
	大阪	12,883	97.5%	3,455	94.1%	2,861	71.4%	13,477	104.6%	
	愛知	1,223	95.0%	1,056	107.0%	1,123	106.9%	1,156	94.5%	
	計	23,154	98.5%	7,182	95.2%	6,805	86.3%	23,531	101.6%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,546	94.1%	1,760	91.9%	1,778	83.1%	3,528	99.5%	
	大阪	2,834	97.0%	1,418	95.2%	1,379	87.4%	2,873	101.4%	
	愛知	2,182	86.5%	917	124.6%	815	75.7%	2,284	104.7%	
	計	8,562	92.9%	4,095	98.9%	3,972	82.9%	8,685	101.4%	
総 計		214,935	94.9%	142,816	92.3%	145,069	87.3%	212,682	99.0%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。